



兔に角やってみる 心かがやく北部中を目指して

「吾輩は猫である」を書いた有名な小説家の夏目漱石は、「**兔に角(とにかく)**」という言葉をよく使ったと言われています。

「兔に角」とは、何かを始めるときや、困難に立ち向かうときに非常に重要な意味を持つ言葉です。例えば、「兔に角、やってみよう」

「兔に角、頑張ってみよう」というように、**まずは行動を起こすことが大切だ**ということを教えてくれる言葉です。私も様々な困難に遭遇した時によく使ってしまう言葉です。

さて、11月は熊本市一斉の「心かがやけ月間」でした。全校生徒の皆さんの心かがやくように週目標が、自分→クラス→感謝について取り組めるような内容になっていました。

また、保護者・地域の皆様が連携し、朝の挨拶運動を実施されました。そして、学校としても道徳の授業参観日を設け、保護者の皆様と共に全クラスが情報モラルについて考える機会をつくりました。

心かがやけ月間を通して、安心・安全な北部中をつくっていききたいという願いから、「**兔に角**」、みんなで計画し、活動したものです。引き続き、心かがやける北部中を目指して、「**兔に角**」取り組んでいききたいと思いますので、ご理解ご協力をお願いします。



命の成り立ち・大切さを考える

11.25(月)⑤学活の時間に1年生は学年全体で性教育の授業が行われました。生命誕生の動画視聴、性教育の必要性(平山先生がプレゼンし、学年主任の内村先生が出産時の男性の気持ちを話されました。)、生徒代表者が妊婦体験の感想(「お母さんは、こんなに重い思いをして、出産前は生活をしていたことがわった。」等の感想が紹介されました。)の学習がありました。

そして、夏休み中にご出産された中島先生とお子様(赤ちゃん)から「命の大切さ」について、「皆さん一人一人が大事な命であるからこそ、感謝の気持ちを持って日々生活してほしい。」とお話をいただきました。1年生の皆さんは、落ち着いて、しっかり話を聞いていたのが印象的でした。

熊本市震災対応実働訓練



11.24(日)に、熊本市、学校、育友会、地域の皆様が構成される川上校区防災連絡会のメンバーが集まり、熊本市震災対応

実働訓練が実施されました。この訓練は、毎年実施されており、大規模な災害の発生に備え、自助・共助・公助の役割分担と連携・協議の基に避難所運営・情報収集・物資提供等が円滑に実施できるように確認するものです。様々な視点で、意見交換を行い、有意義な訓練になりました。